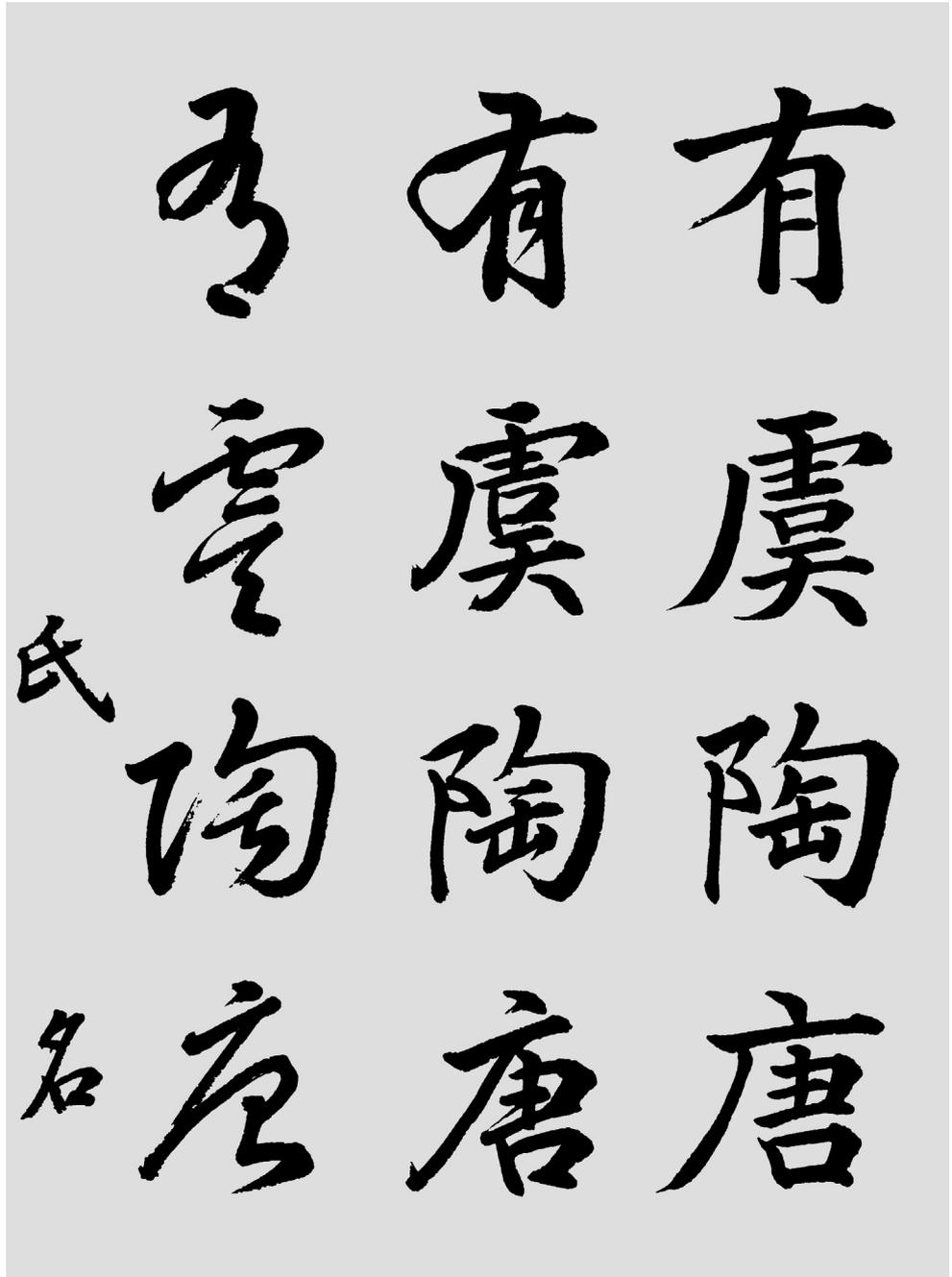


▶「千字文を学ぶ」は今回をもって一まず終了します。

三体千字文を書く(24)

締切り 十二月二十日(必着)



奥村憲照先生書

□作品の出し方

- ▼硬筆部 B5判(二五七mm×一八二mm)以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。(黒色に限る)
- ▼毛筆部 B半紙に書いて下さい。(筆ペン可)
- ▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。

- ▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の成績)を、作品余白にお書き下さい。
- ▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

◆硬筆の専門誌だった大書心に一般毛筆部が設立されたのは、昭和五十六(一九八二)年四月のことです。

◆「三体千字文」の一課題からスタートしましたが、憲照先生の穩健中正で気品のある毛筆手本が好評を博し、「硬毛一致」の新しいスローガンを打ち立てて毛筆部の充実を図り、本会の発展へとつながりました。

◆次回から「条幅半切四分の一」を学びます。お楽しみに。

〔千字文〕

四言古詩二五〇句、重複しない千字からなっており、聖徳・修養・修身・齊家等について述べられた習字手本であり、初學者の教科書でもあった。

梁の武帝(在位五〇二〜五四九)の命を受け、周興嗣が王羲之の筆跡中からまとめたといわれる。

〔解説〕

推位讓國  
有虞陶唐

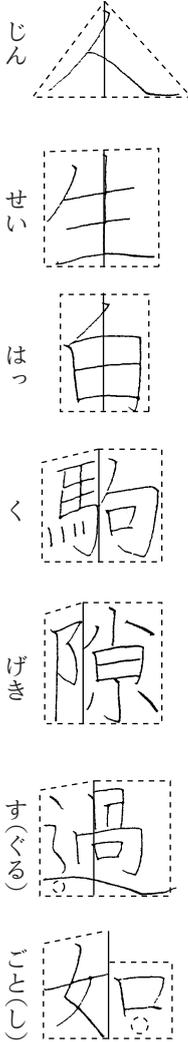
堯舜の頃の讓位は道義によって行われた。

有虞、陶唐それぞれ推挙をうけて帝位につき又國を讓った。

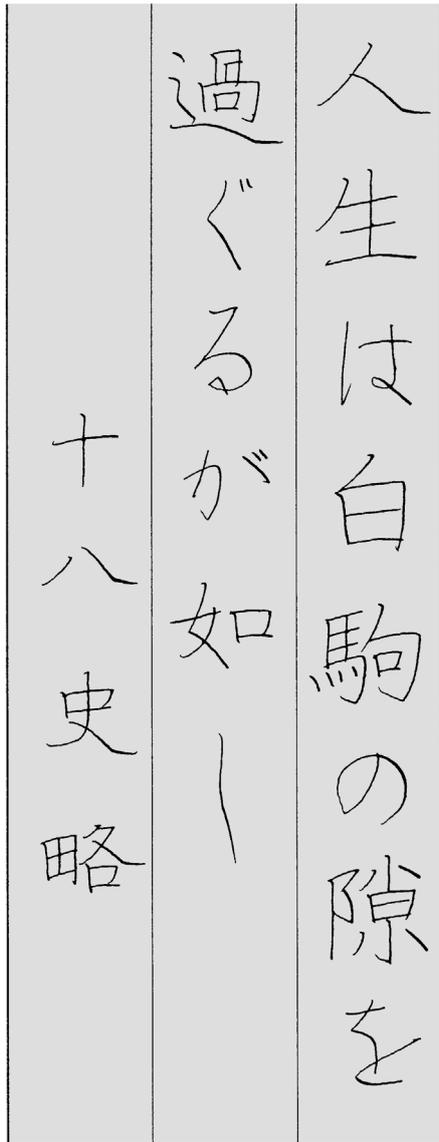
準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕



◎教範・書範は右課題を「行草または草書」で、師範は「行書」で出書して下さい。  
 ◎書の学習の第一は、練習時間をつくることです。毎日練習できれば申し分ないが容易ではない。最低一週間に一回は必ず練習時間を持つことが、書の学習の要諦であると心得ていただきたい。

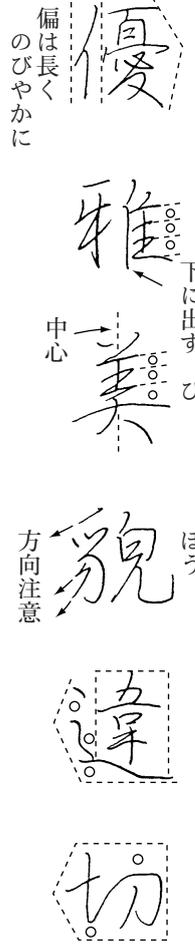


おか だ りゅう ほう 書  
 岡 田 龍 芳 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕



おお たに せい じょう 書  
 大 谷 清 城 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

▼教範・書範||楷書  
 ▼師範||行草または草書

◆1月課題予告(行書)  
 知、仁、勇の三者は  
 天下の達徳なり  
 中庸

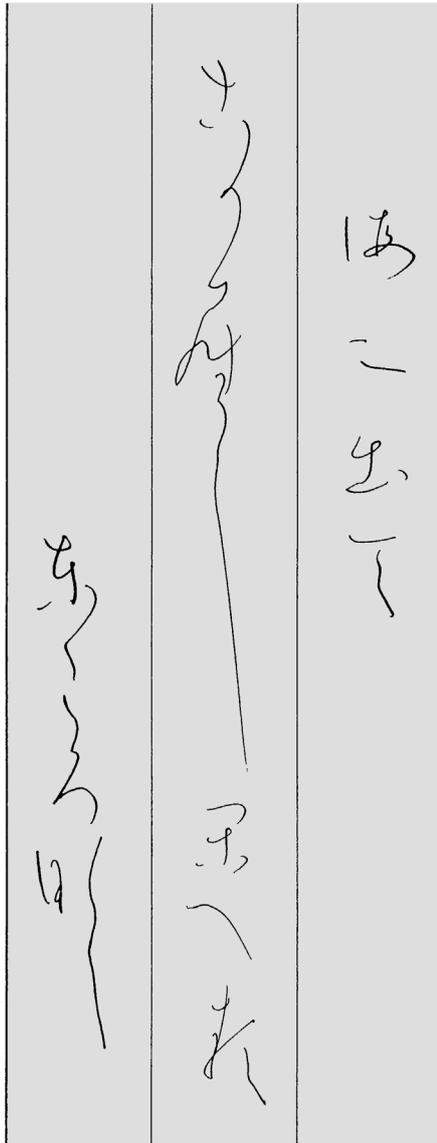
★人生は：(書体||楷書)  
 十八史略 中国・宋末〜元初期  
 の曾先之の著した歴史入門書  
 人生は、戸の隙間から白馬が走り過  
 ぎるのを見るように、ほんの一瞬のこ  
 とにすぎない、という意味です。  
 人の寿命はそれぞれですが、長くて  
 もせいぜい百年。楽しく、そして意義  
 のある人生、それを自分なりに発見し  
 たいものです。

◆1月課題予告(楷書)  
 故きを温ねて  
 新しきを知る  
 論語

★優雅：(書体||行書)  
 ルソー(一七二一〜一七七八)  
 フランスの作家・思想家  
 立居ふるまいの美しい女性をほめる  
 のに最適な言葉です。見た目の美しさ  
 は、年齢と共に損なわれていくのは仕  
 方のないことですが、体の内から醸し  
 出される優雅さは、いつまでも魅力  
 を保ち続けます。もちろん、そのどちら  
 も美しいままの人もありますが…。

準初段から六段まで

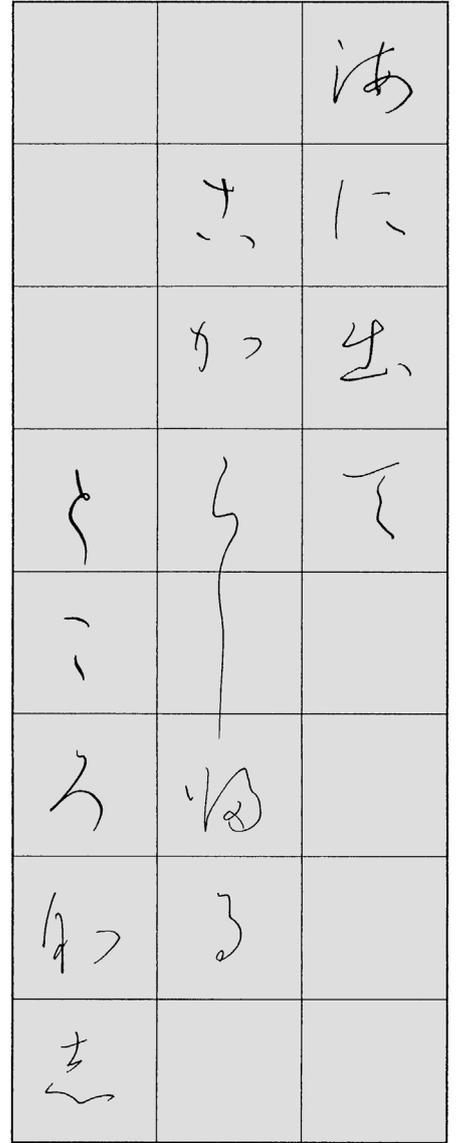
新入から1級まで



海二に出天て木古枯羅帰しると閑ころ類なし東

海二に出天て木古枯羅帰しると閑ころ類なし東

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。



おお みや しゅん ちよう  
大 宮 春 兆 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

おお みや しゅん ちよう  
大 宮 春 兆 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

◆1月課題予告

去年今年貫く棒の如きもの

(高浜虚子)

那な 類る 閑か 羅ら 古こ 天て  
 那 類 閑 羅 古 天  
 那 類 閑 羅 古 天  
 那 類 閑 羅 古 天  
 那 類 閑 羅 古 天  
 那 類 閑 羅 古 天  
 那 類 閑 羅 古 天

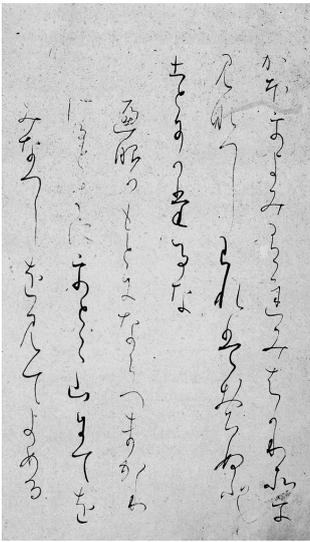
〔古筆参考〕

海うみに出でて木こ枯がら帰しかるとかころなし  
 〔句意〕初冬の野山を激しく吹き抜けた木枯らしは、寒々とした鉛色の海辺に吹き寄せ、何ひとつさえぎるものもない海上に出て、再び帰ることもなく沖の彼方かなたへ吹き去っていったことである。

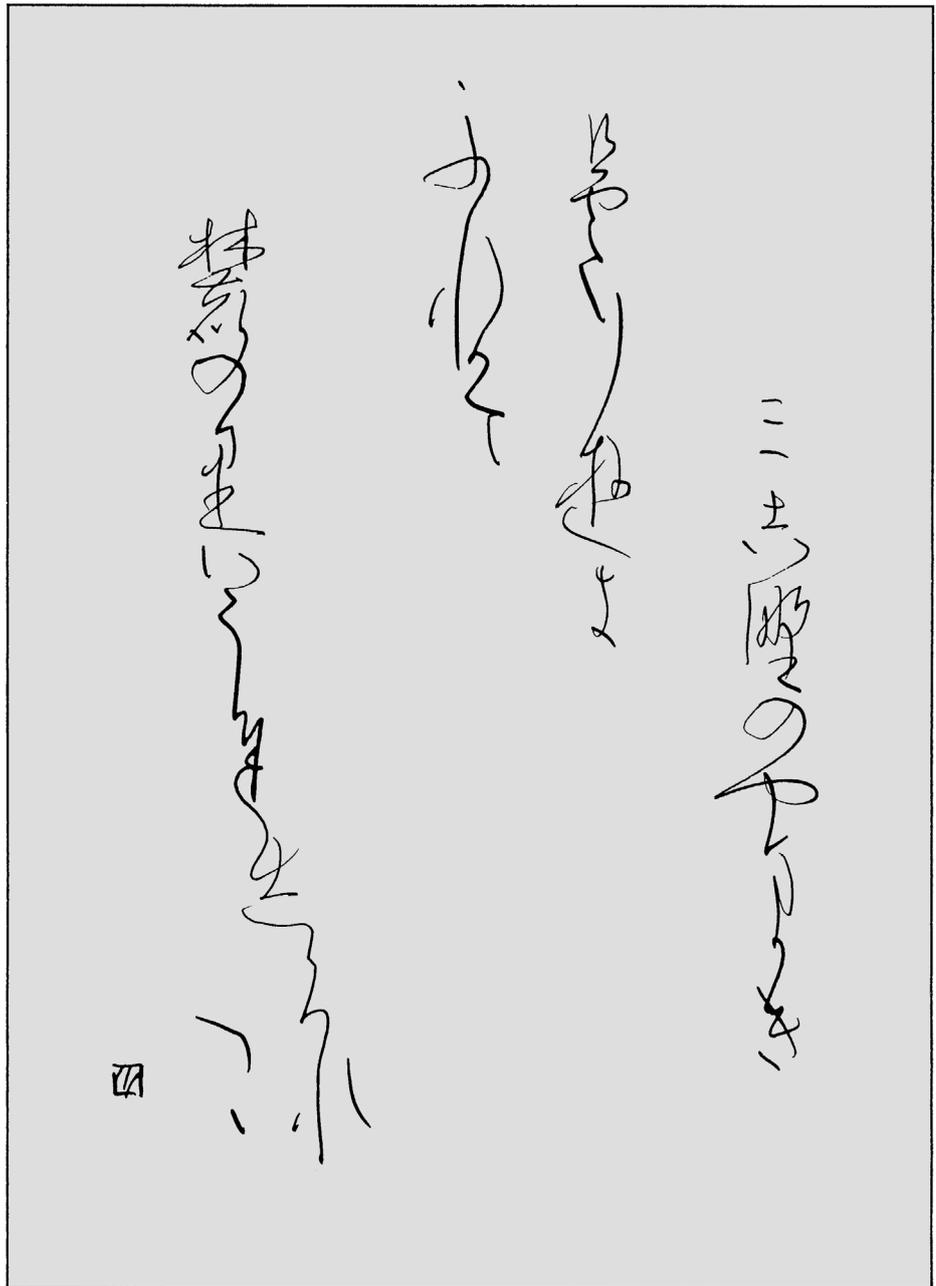
(山口誓子)

〔古筆参考〕

せきどほんこきんしゅう  
関戸本古今集



締切り 十二月二十日 (必着)



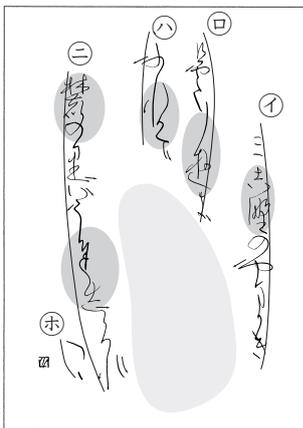
築瀬舟香書

かほをよみうちみばかりぞを  
見那王盤登  
みなへしわれはおちぬと  
悲尔可堂  
ひとにかたるな  
遍昭がもとに、ならへまかり  
可尔  
けるときに、をそこ山にてを  
支平  
みなへしを見てよめる

◆1月課題予告  
あめつちのころあらはにあらはれて  
輝けるかも富士の高嶺は (若山牧水)

「かな古典の学び方」  
参考資料 榎倉香柳著  
「野性にもどる」とはどういう事か。  
それは疎密・行のゆれ・古筆の文字等々  
考え取り入れた原稿をつくり、清書の時  
には全て計算なしで、今迄やってきた事  
にとらわれず全て忘れて、楽しくリズム  
に乗って書く事です。

- 野性にもどる
- 指向性、線の方向大切。
- 余白大切。
- 密の部分。
- ①と②、①と③、①と④、②と③、②と④、③と④、それぞれ呼応。



〔解説〕

〔歌意〕雪が吉野山をかき曇らせてし  
きりに降る季節になったので、麓の里  
は幾度もしぐれてるよ。  
〔出典〕新古今和歌集 (新潮日本古典集成)  
三吉野の山かき曇り雪降れば  
俊恵法師  
ふもとの里はうちしぐれつ、  
八

締切り 12月20日(必着)

自由課題

- ◆ 今月は、文章も自由といたします。
- ◆ 皆さんのアイデアを生かして自由  
に創作して下さい。
- ◆ バリエティに富んだ、個性豊かな  
年賀状をお待ちしています。

謹賀新年

清々しい新年を

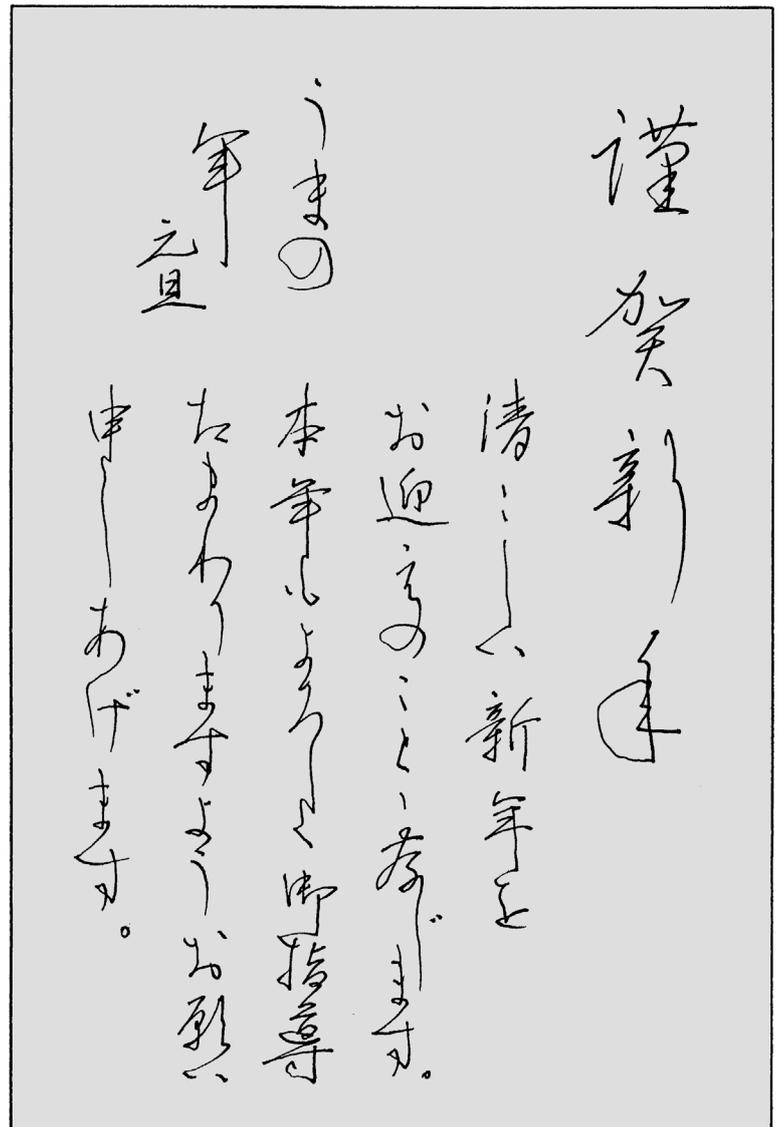
お迎えのこと、存じます。

本年もよろしく御指導

たまわりますようお願い

申しあげます。

うまの年 元旦



横書き課題

お か し ま け い せ ん  
岡 嶋 桂 川 書

形の取り方, 字形の構成を結構と

いい, 主に楷書に用いられる。

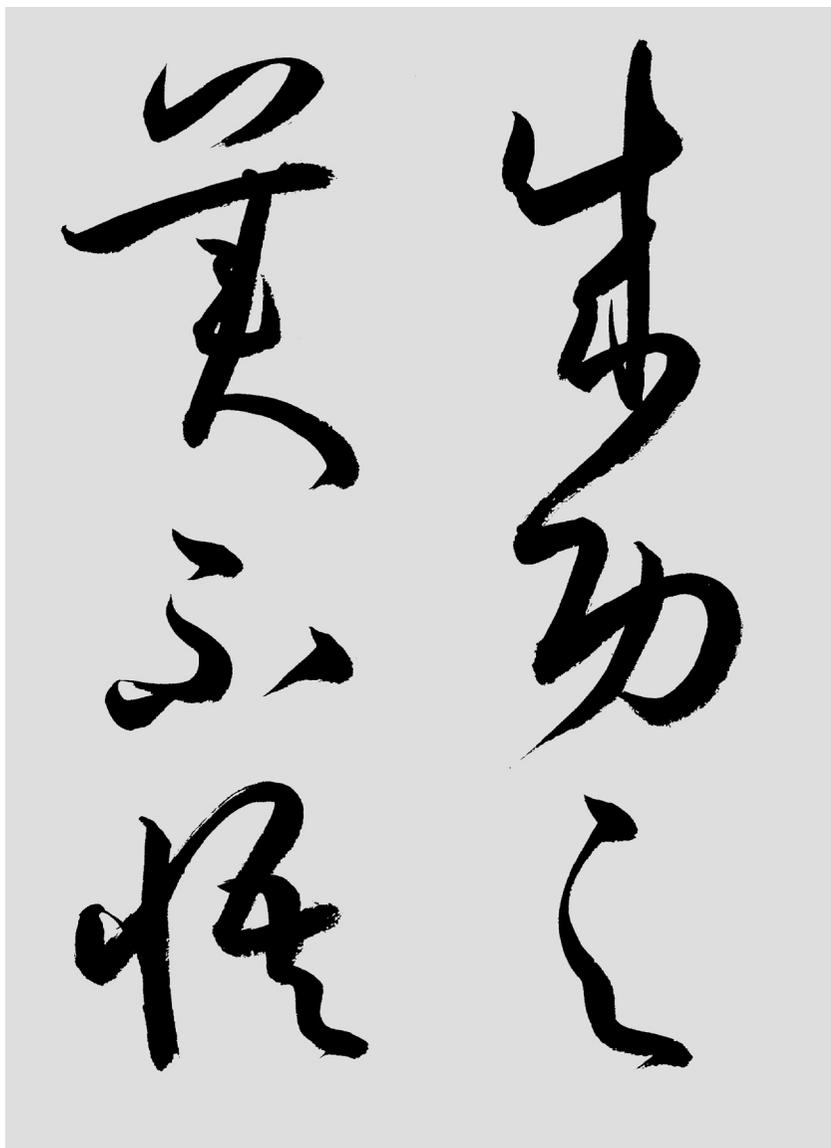
奈良県香芝市 氏 名

※手本は、つけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 12月20日 (必着)

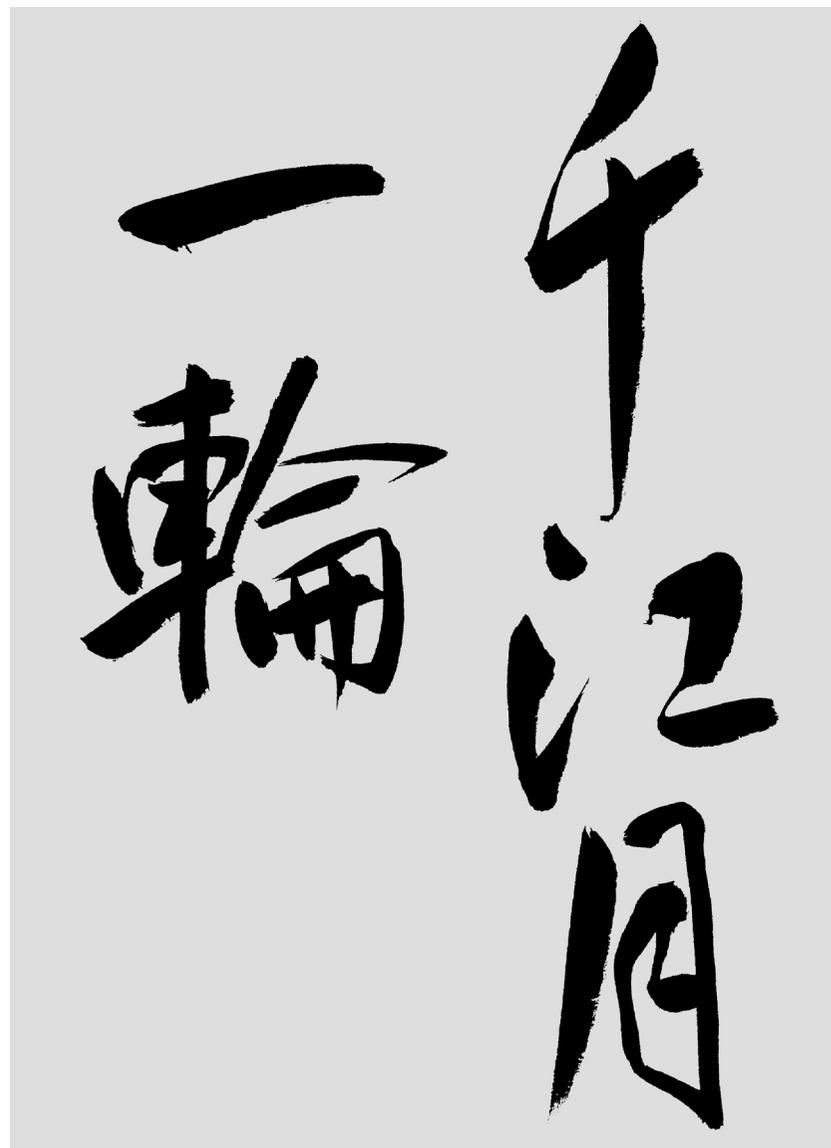
成  
功  
之  
美  
不  
悟



〔出典〕書譜(687) 〔筆者〕孫過庭(649?~688?)  
〔読み〕成功の美を(見るのみにして、致す所の由を)悟らざらしむ。

準初段から師範まで

奥村暢之臨



〔読み〕<sup>せんこうつきいちりん</sup>千江月一輪  
〔大意〕水の面に月は平等に美しく清らかな影を宿す。

新入から1級まで (行書)

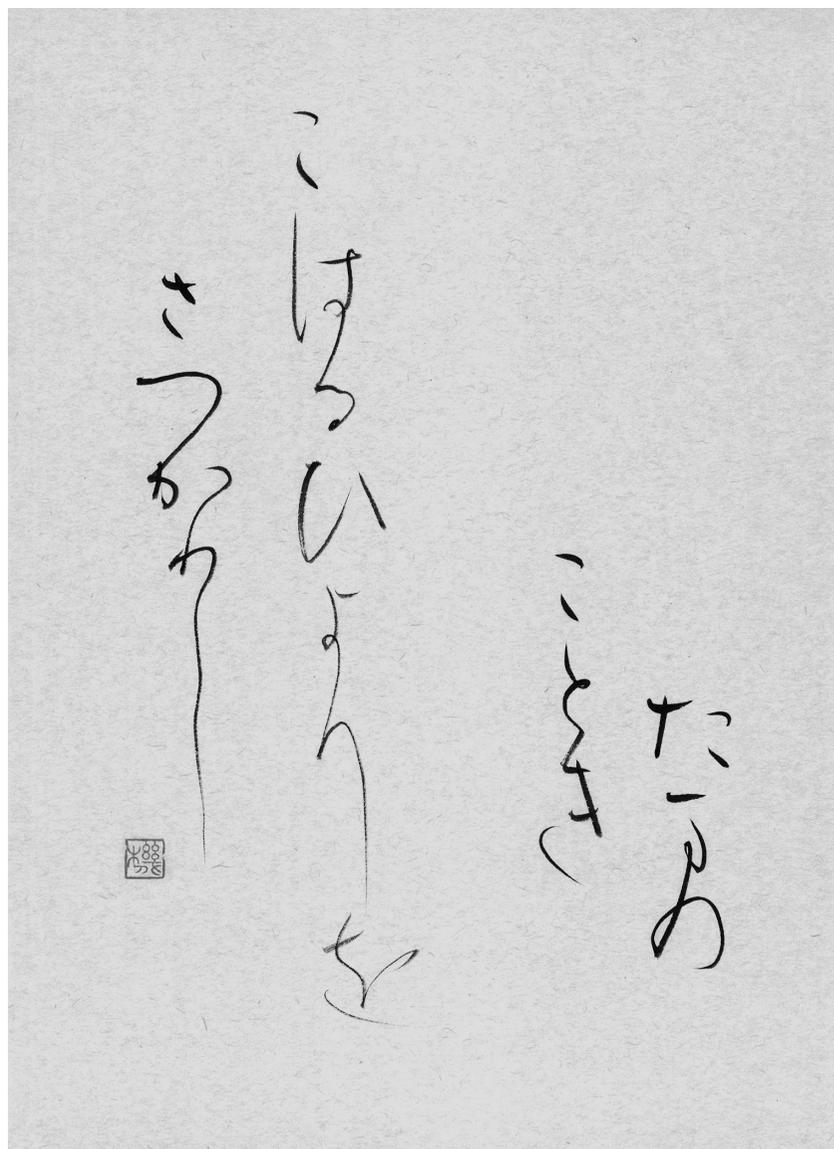
荻田蒼仙書

# 一般部毛筆かな課題

締切り 12月20日 (必着)

新入から1級まで

浅井機山先生書

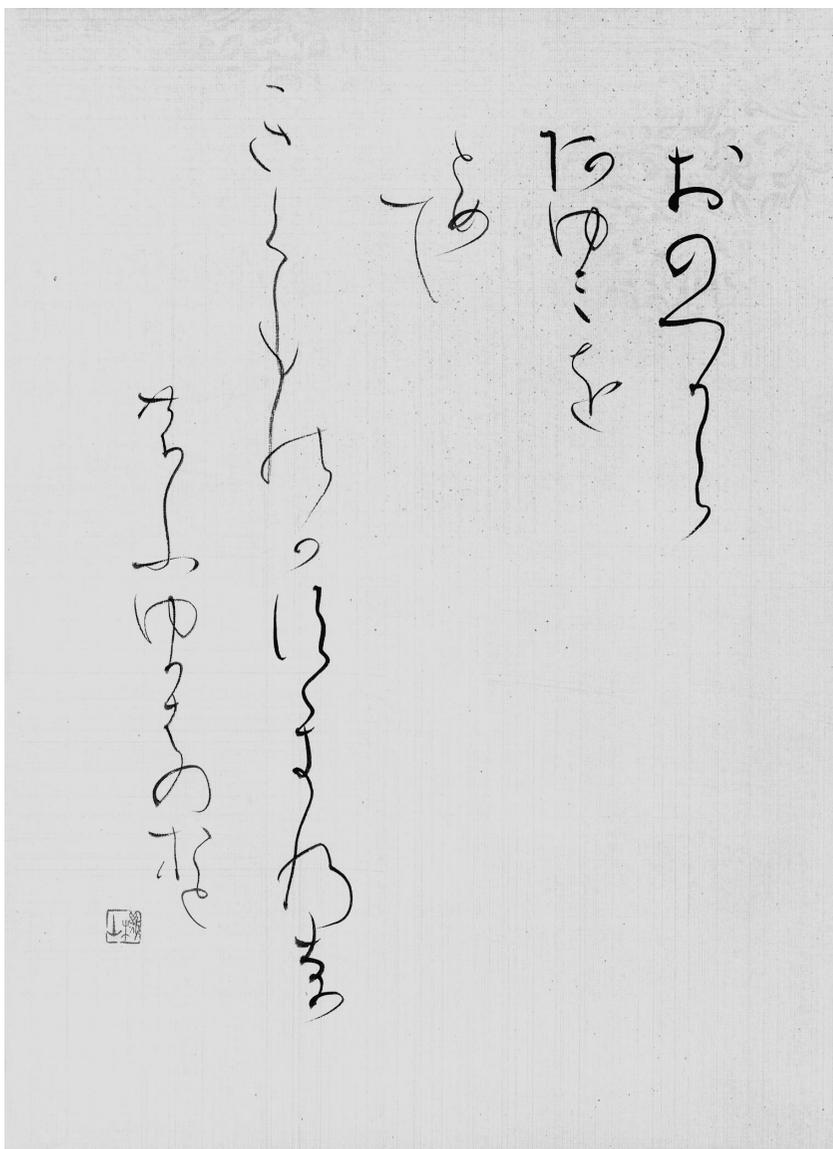


〔出典〕 松本たかし

〔句意〕 玉のように澄み切った、おだやかな小春日和をよろこび感謝した句である。病弱であった作者の実感が表われている。

※検定試験1級コースを兼ねる。  
準初段から師範まで

■ 両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。



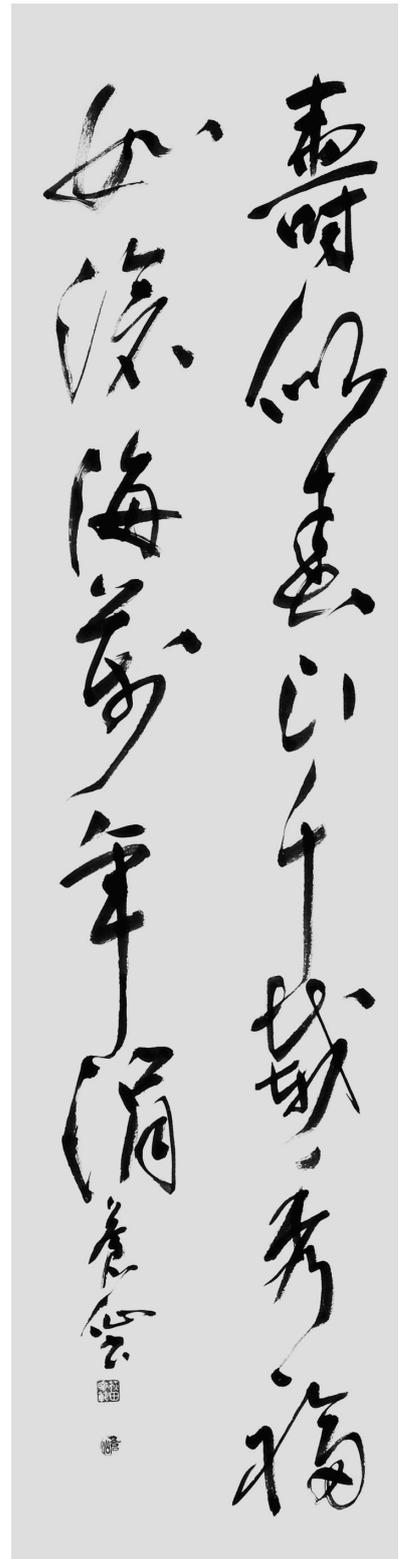
〔出典〕 太田水穂

〔句意〕 おのづと歩みをとめて耳を傾けていることよ。薄の中を流れてゆく冬の川の音は。

※検定試験三段〜教範コースを兼ねる。

おのづから歩みをとめて聞くものか  
須、支乃奈可農ふゆ可者於と  
すすきの冬川の音

一般部毛筆条幅課題

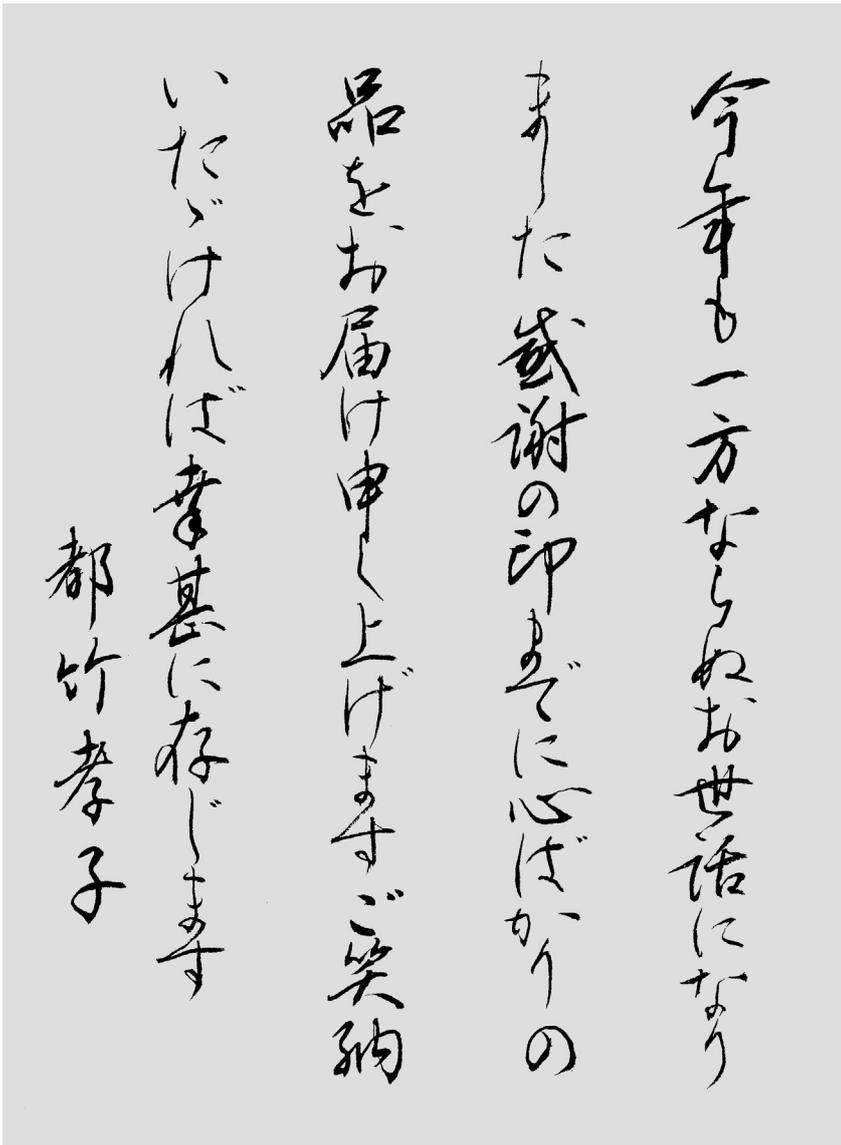


締切り 十二月二十日(必着) 半切(一三六cm×三五cm)

荻田蒼仙書

「大意」 寿は春の山の如くに千載までも秀で、また福は大海の如く万年まで広がり尽きることがない。  
初出品の方へ  
支部名・会員番号・姓名・毛筆漢字成績を、作品左下に必ずお書き下さい。

一般部毛筆細字課題



書 華 玲 田 樋

半紙 (334mm×240mm)

※検定試験三段コースを兼ねる。

〔条幅解説〕 歳をとる、地位が上がる……それは「引き出し」を多く持つことです。そのために多くの人と接することです。そして知識、知恵を頂くことです。大切なことは実力のある先輩に対して、知ったかぶりをしない、喋り過ぎないこと。聞き上手になること。

今年も一方ならぬお世話になりました。感謝の印までにはばかりの品をお届け申し上げます。笑納 いたゞければ幸甚に存じます

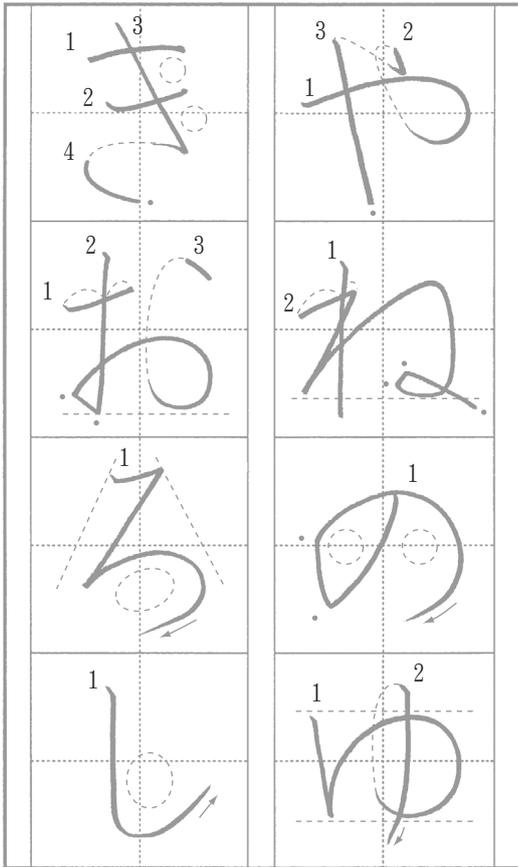
(ご自分の氏名)

・印で墨つきしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

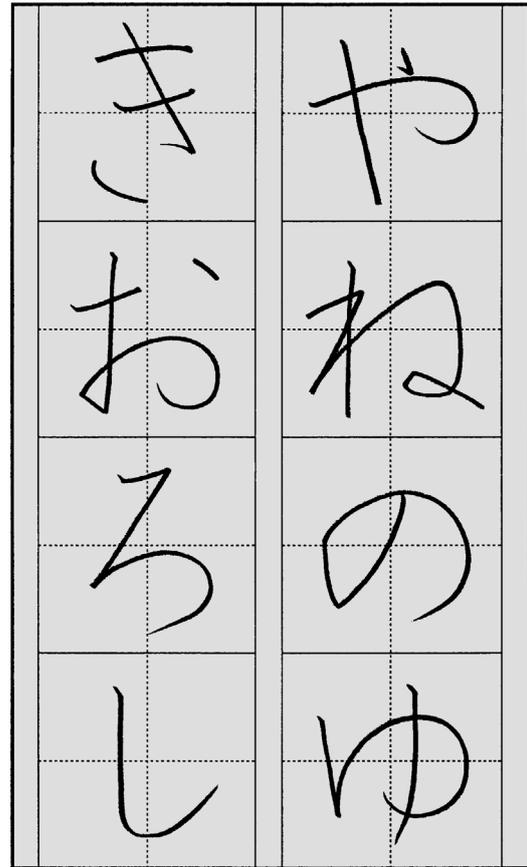
- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位〜5等)は、評価により毎月変わります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

〈ようぐく〉自由(黒色にかざる)



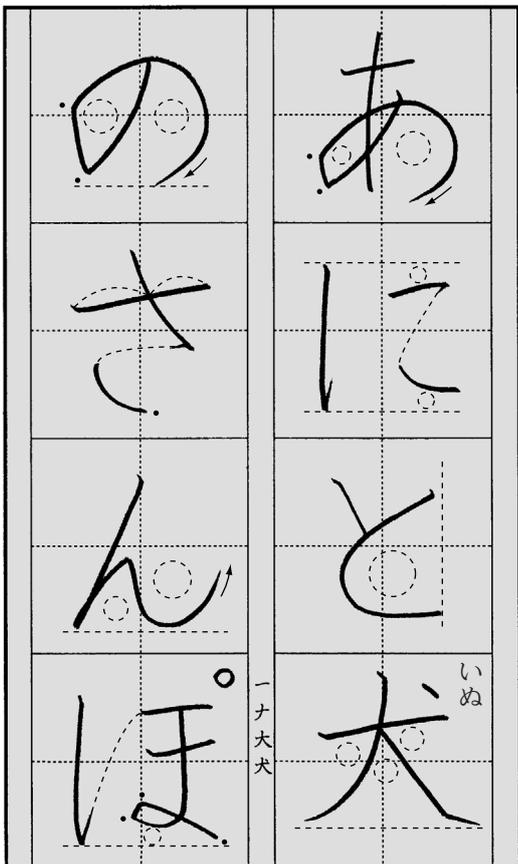
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。  
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



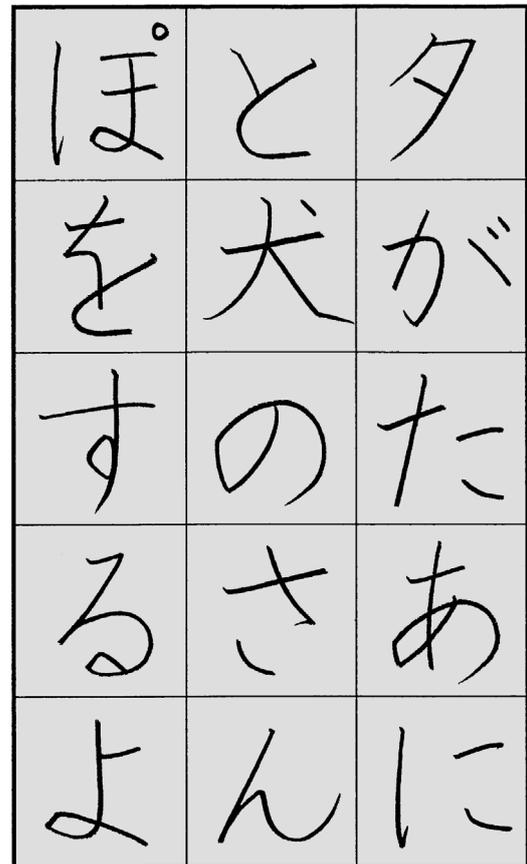
よ  
う  
年

幼年〜小三年  
三宅容玉書



新入〜1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小  
一  
年

準初段以上

〈ようぐく自由〉(黒色にかざる)

が	春 <small>はる</small>
さ	に
く	お
よ	花 <small>はな</small>

三 尹 夫 表 春 春  
一 ナ ナ ナ 花 花

新入 1級

入	さ	春
れ	く	に
し	よ	お
ま	う	花
す	手	が

小 二 年

準初段以上

ら	海 <small>うみ</small>
流	の
氷	上 <small>うえ</small>
を	か

リユウ  
ヒヨウ

新入 1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

氷	の	船
を	上	に
見	か	の
た	ら	り
よ	流	海

小 三 年

準初段以上

〈用具〉自由(黒色に限る)

て	早
健	起
康	き
に	し

新入1級

康	よ	早
に	く	起
生	食	き
き	べ	し
る	健	て

小四年

準初段以上

小四以上 須田一葉書

気	人
商	混
店	合
街	活

解説(よく見て習いましょう)

れ	い	人
る	活	で
商	気	混
店	あ	み
街	ふ	合

小五年

(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

自由(黒色に限る)

芸	尊
師	敬
技	伝
学	統

解説(よく見て習いましょう)

ら	統	尊
技	工	敬
を	芸	す
学	師	る
ぶ	か	伝

小六年

(全員)

形	称	左
状	で	右
の	斬	が
帽	新	非
子	な	対

中二・三年 (楷書)

打	到	彼
ち	の	は
立	快	前
て	拳	人
た	を	未

中一年 (楷書)

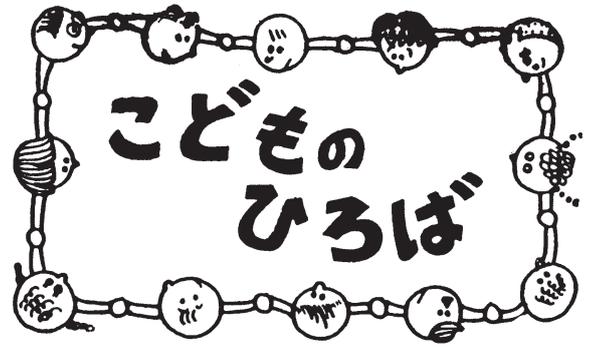
▼小三年以下の課題

柴 田 桃 花 書

一	遊	今	お	明
月	ぼ	年	め	け
一	う	も	で	ま
日	ね	た	と	し
		く	う	て
		さ		
名		ん		
ま				
え				



◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 12月20日(必着)

習っていない漢字は、  
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題

前 嶋 玉 華 書

元				新
旦	頑	勉	今	年
	張	強	年	お
	る	や	も	め
氏	ぞ	運	気	で
		動	合	と
		に	い	う
名			で	



◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

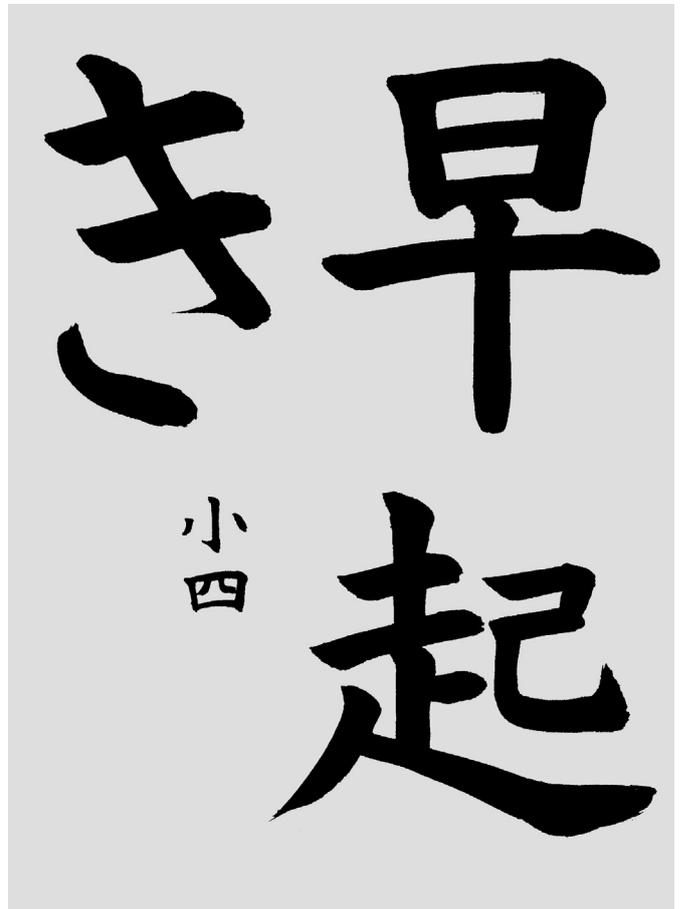
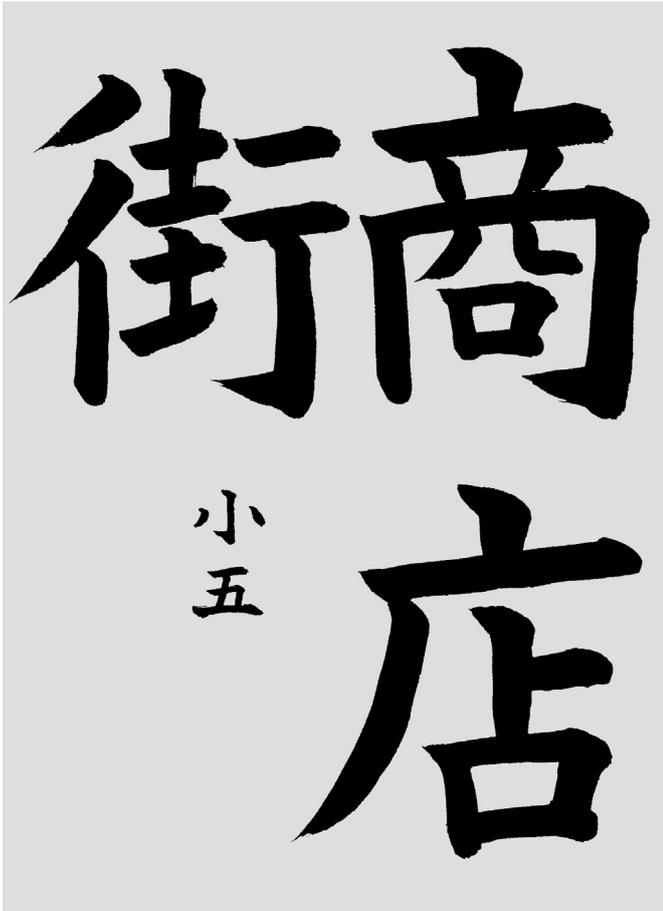
- 一、選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。(黒色に限る)
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。





幼年た〜ま小二年  
玉樹き  
小華書しやうか





小三、小五年

水野香竹書

中  
三

対左

称右

小六、中二・三年

奥村暢之書

小  
六

工伝

芸統

到 伝

対 統

称 前

中  
一

未前

到人

# 第65回 毛筆検定試験受験要項

12月20日締切り

## ■ 受験にあたってご注意

▼ 検定受験者は、十二月のすべての毛筆月例競書をお休み下さい。(短期特別課題は出品可)

▼ 一覧表の最高昇段級位というのは、各コースで取得できる最高の段、級位を示したものです。現在この段級位にある人は、それ以上のコースを受験して下さい。

## ■ 出品方法

▼ 作品は、必ず一覧表に明示した順序にそろえ、右肩をホツキスでとじて下さい。

ただし教範コースは、上から、①漢字②かな③細字④教育部手本課題⑤条幅⑥書歴(初回のみ。詳細は本部へ問合せ)の順にそろえ、ゼムクリップでとじて下さい。

▼ 検定作品と月例作品を同封する場合は、必ず、二つのビニール袋に入れ、表に「検定」「月例」と明記して混同しないようにお願いします。

▼ 支局・支部には「検定作品出品明細書」を一月号配布時に同封しますから、所要事項記入の上、作品、受験料と同送して下さい。さらに、正確を期す上から受験者名簿を添付して下さい。

▼ 封筒に「検定受験」と朱書して下さい。

▼ 受験料は、為替か小為替で作品と同封するか、現金書留による送金に限ります。(振替、その他は不可)

● 締切 平成二十五年十二月二十日(本部必着)

● 送り先 大書心会検定試験係

● 発表 平成二十六年三月号

▼ 肉筆手本希望者は、毎月裏表紙掲載の毛筆担当の先生へ、現金書留(返信用封筒同封)でお申込み下さい。(左記料金は、一点についての金額です。ただし、コピー手本・添削料は半額といたします)

※ 条幅の原寸大のコピー手本はありません。

一般部1級・三段コース	
漢字半紙	一、〇〇〇円
細字・かな	一、五〇〇円
漢字半紙	一、二〇〇円
条幅	三、五〇〇円
細字	一、七〇〇円
教育	八〇〇円

活字課題	
五段コース以上	八〇〇円
会友コース	八〇〇円

## ◆ 一般部1級・三段コース

コース	課題	最高昇段級位	課題	漢字		かな	細字	計	受験料
				楷書	行書				
一般部	1級コース	1級まで	漢字は下掲課題 かなは月例級位課題	1	1	1		3	1,500円
	三段コース	三段まで	漢字は下掲、かな・細字は月例段位課題	1	1	1	1	4	2,000円

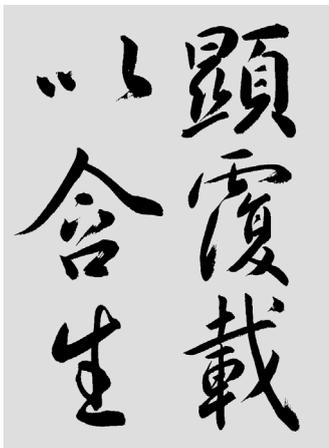
〔三段コース漢字課題〕

《集字聖教序》

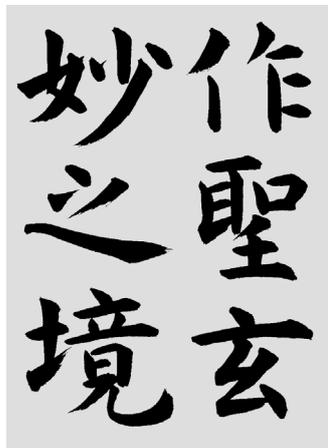
《孔子廟堂碑》

《行書》

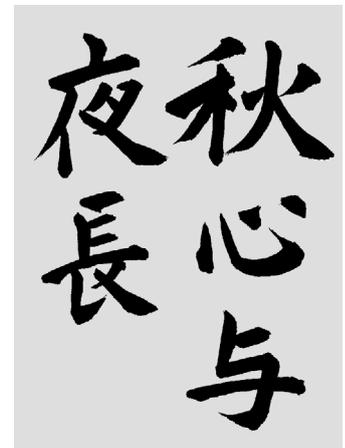
《楷書》



神谷葵水先生臨



荻田蒼仙書



秋心与夜長

コース	課題	受験資格	最高昇位	課題	漢字			かな	細字	条幅	教育部 手本	計	受験料
					楷書	行書	草書						
一般部	五段コース	有段者 支局・支部長	五段まで	下記(活字)	1	1	1	1	1	—	—	5	2,500円
	書範コース	有段者 支局・支部長	書範まで	下記(活字)	1	1	1	1	1	1	—	6	3,000円
	教範コース	書範 支局・支部長	教範	下記(活字)	1	1	1	1	1	1	2	8	4,000円
教育部	普通コース	—	12月しめきりの月例競書課題									1	400円
	会友コース	四段以上の中学生 準会友の小学生	12月しめきりの月例競書課題と下記活字課題(行書)									2	700円

◎師範試験は、毎年2月に単独で実施しています。(P23参照)



▼書譜

推張適鍾之意



▼集字聖教序

蓋聞二儀有像



▼孔子廟堂碑

知幾其神惟睿

図版で示した三つの法帖の各六文字を、それぞれ半紙に臨書して下さい。

漢字

五段コース以上共通(半紙)

五段・書範・教範コース課題

- 五段・書範・教範コース受験のきまり
- 一、五段・書範・教範コース受験は、上掲一覧表のとおり受験有資格者に限ります。
  - 二、教範コースは単位合格が認められますが、単位を取得されても、受験の際は改めて全科目を提出して下さい。ただし、合格科目については、審査の対象から除きます。
  - 三、単位合格は、一年以上検定試験を受験しないと無効になります。



(行書)

会友コース課題

▼十二月締切りの自分の学年の月例課題一枚  
▼上の語句の行書一枚  
計二枚を一組とし、右肩をとじて出品のこと。

※氏名は、各学年に合わせてお書き下さい。  
(小1年はひらがなで書くなど)

小 1  
ゆげ

小 6  
防火  
設備

教育部手本課題

教範コースのみ(半紙)

マンションご購入おめでとう  
住み心地はいかがですか 交通の  
便が良いのは何よりですね 今度  
ぜひ新居を拝見させて下さい  
(ご自分の氏名)

細字

五段コース以上共通(半紙)

次の語句を、行書または行草体で体裁よく書いてください。

今 来 古 往 閑 中 意  
紅 樹 青 山 望 裏 秋

条幅

書範・教範コース共通(画仙紙半切)

次の語句を、画仙紙半切に体裁よく書いて下さい。

- かな 三段コース以上共通(かな用半紙)
- 次の和歌を、かな半紙にちらし書きにして下さい。  
◎おのづから歩みをとめて聞くものか  
すすきの中の冬川の音 (太田水穂)  
※P8参照